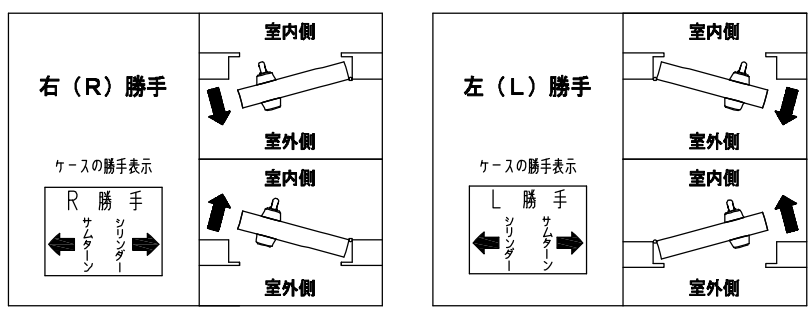


鎌式デッド警備信号本締錠 (CDSGシリーズ) 取付説明書

※全ての製品を取付け後、正常に作動しているか必ず確認して下さい。

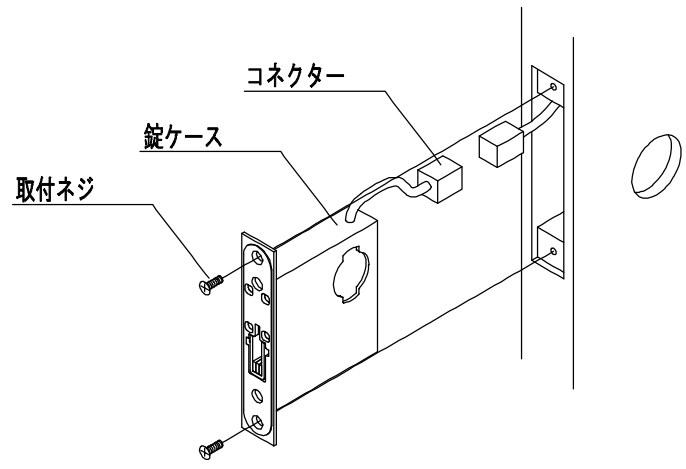
⚠ 注意

本製品には左右勝手があります。取付の際はケースの勝手表示が扉の勝手に合っているかご確認ください。



1. 錠ケースの取付

扉の配線とケースのコネクターを接続して下さい。
 (扉の配線はケースの取り出しができる様30mm程度余裕を見てください。)
 フロントをはずし、錠ケースを取り付けネジで扉に取り付けてください。

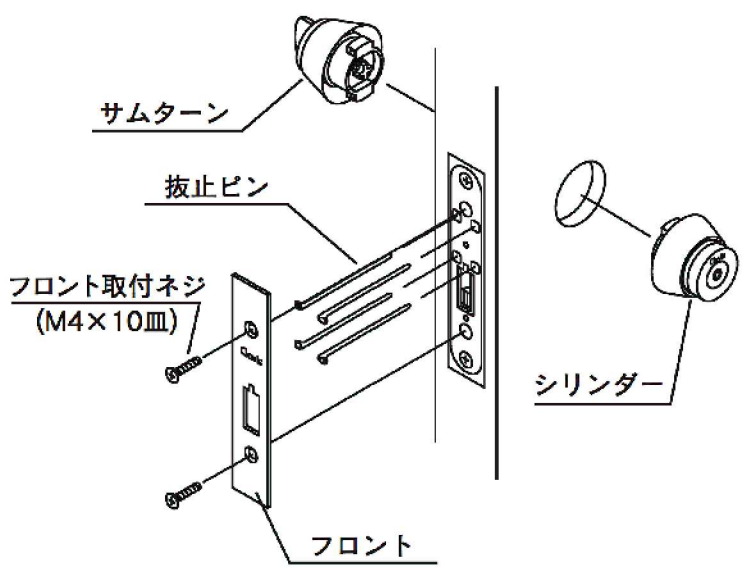


2. シリンダーサムターンの取付

「Clavis」刻印が上に見えるようにシリンダー、サムターンを錠ケースに差し込み、それぞれを抜止ピンでとめてください。(サムターンは解錠状態でつまみが縦になるよう取り付けてください。また、シリンダーはキーを抜いた状態で取り付けてください。)

3. フロントの取付

フロントをフロント取付ネジで取り付けて下さい。



鎌式デッド警備信号本締錠 (CDSGシリーズ)

取扱説明書

取付をされる業者の皆様へ

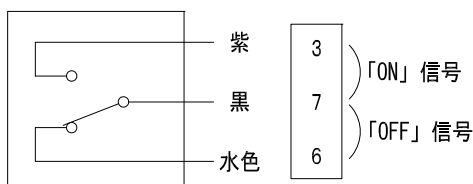
- 本書は、結線工事される方、及び施主様または入居者様向けです。
- 本書は、必ずご入居者様にお渡し下さるようお願いいたします。

1、製品の概要

●本製品は錠前の内部にスイッチが内蔵されており、警備システムと接続して使用することにより警備状態を「起動」「停止」することができます。

2、内部回路及び電気仕様

回路図



電気仕様

マイクロスイッチ	定格電圧：DC24V 定格電流：2mA～100mA
リード線	長さ：250mm (9Pコネクタ付) AWG24 UL1007:耐熱ビニール電線
使用温度範囲	-10℃～+50℃ (結露、氷結しないこと)

3、操作方法

- 施解錠するとき
室外側からはキー、室内側からはサムターンにより通常の錠前と同様の操作で施解錠できます。
- 警備信号をON/OFFするとき
室外側からキー操作にて警備信号をON/OFFできます。詳しい操作方法については、以下の表をご参照下さい。
注) 室内側のサムターンで信号をON/OFFすることはできません。

	警備信号を「ON」にするとき	警備信号を「OFF」にするとき
右勝手	<p>1、室外側からキーを挿入し、90°回転させて「施錠」します。</p> <p>2、1の状態から更に約55°回転させると警備信号が「ON」になります</p> <p>3、キーを挿入位置まで回転させて抜いて下さい。</p>	<p>1、室外側からキーを挿入し90°回転させて「解錠」します。 ・警備信号が「ON」の状態では解錠すると番号が「OFF」になります。</p> <p>2、キーを挿入位置まで回転させて抜いて下さい。</p>
左勝手	<p>1、室外側からキーを挿入し、90°回転させて「施錠」します。</p> <p>2、1の状態から更に約55°回転させると警備信号が「ON」になります</p> <p>3、キーを挿入位置まで回転させて抜いて下さい。</p>	<p>1、室外側からキーを挿入し90°回転させて「解錠」します。 ・警備信号が「ON」の状態では解錠すると番号が「OFF」になります。</p> <p>2、キーを挿入位置まで回転させて抜いて下さい。</p>
内部回路	<p>警備信号「ON」</p>	<p>警備信号「OFF」</p>

4、注意事項

- 本製品は電気による遠隔施解錠操作はできません。
- 製品取付後は必ずキー、サムターンによる施解錠確認及び、テスター等での接点出力確認を行ってください。